

【開催報告】「損保ジャパン日本興亜福祉財団賞」

受賞記念講演会・シンポジウム

公益財団法人損保ジャパン日本興亜福祉財団は「損保ジャパン日本興亜福祉財団賞※」の受賞記念講演会とシンポジウムを開催しました。

※「損保ジャパン日本興亜福祉財団賞」は、優れた社会福祉学術文献を表彰する制度で、社会福祉の学問的探求を志向する多くの学者・研究者の研究意欲の促進と、わが国の社会福祉の発展に寄与することを目的として1999年に創設しました。

記

1. 開催日時 : 2019年7月13日(土) 13時~17時
2. 場 所 : グランドアーク半蔵門 (東京都千代田区)
3. 参加人数 : 約110人 (大学関係者、学生・研究者、企業・行政の担当者、社会福祉団体関係者ほか)
4. 主 催 : 公益財団法人損保ジャパン日本興亜福祉財団
後 援 : 厚生労働省、一般社団法人日本社会福祉学会、
一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟、日本地域福祉学会、
日本社会福祉系学会連合、
5. 内 容
 <第Ⅰ部> 受賞記念講演会
 受 賞 者 : 永野 咲 氏 [昭和女子大学人間社会学部福祉社会学科 助教]
 受 賞 著 書 : 『社会的養護のもとで育つ若者の「ライフチャンス」
 一選択肢 (オプション) とつながり (リガチュア) の保障、
 「生の不安定さ」からの解放を求めて』
 <第Ⅱ部> シンポジウム
 テ ー マ : 『不利の連鎖の中にある「若者」のライフチャンスを保障するために』
 コーディネーター : 岩田 正美 氏 [日本女子大学 名誉教授]
 パネリスト : 上間 陽子 氏 [琉球大学大学院教育学研究科 教授]
 : 佐々木 宏 氏 [広島大学大学院総合科学研究科 准教授]
 : 宮本 みち子 氏 [千葉大学・放送大学 名誉教授]
 コメンテーター : 永野 咲 氏 [昭和女子大学人間社会学部福祉社会学科 助教]
6. 参加者の感想
 - ・負の連鎖は久しく論じられているが、社会的養護を受けて育った若者の追跡調査があまりされていないことに驚いた。
 - ・児童福祉分野で新しい視点をいただいたように思った。政策や世論に反映することを望んでいる。
 - ・社会的養護を巣立った子どもに関心を持つ社会の姿があってもいいのではと思った。
 - ・若者・子どもの貧困は様々な要因が重なり合っていること、1つの原因ではないということ考えた。
 - ・いろいろな視点から見る貧困や課題や実態について知ることができ、支援のあり方についても当事者が本当に必要としていることを考えさせられた。
 - ・様々な観点から社会的養護に関する研究を進めているリアルなまた視線の異なる話を聞いて貧困をめぐる日本の現状や教育が若者の未来においての課題として強く認識した。

以上